



謹賀新年 2023

コロナ禍落ち着き、 行事活発化

新型コロナウイルスの影響が落ち着く中、12月上旬から中旬にかけて、県内各地の学校や公民館などで正月を迎えるための行事が開かれました。寒さにも負けず、多くの子どもたちが参加し、お年寄りら地域の人たちと触れ合いを深めながら、昔から続く日本の伝統文化を体験しました。

唐津市の鎮西公民館では、地域の人たちが指導役となって餅つきを開催。子どもたちは餅をついたり丸めたりする作業に熱心に取り組みました。できた餅はあんこ餅などにしてみんなで食べました。多久市の東原庁舎西溪校では8年生(中学2年生)がしめ縄づくりに挑戦。地域の人たちに教わりながら円形のかわいいしめ縄を作り上げ、満足そうな笑顔を見せていました。武雄市の橘小では3、4年生が年賀状作成に挑戦。近隣の郵便局長さんに教わりながら郵便番号や宛名を書き込み、はがきの裏面は来年の干支のウサギなどをカラフルに描きました。

コロナ禍が落ち着きを見せた2022年。新年はこれまで以上に活発なPTA活動が期待されます。
(取材班)



発行所
佐賀市南佐賀3-11-15
佐賀県立佐賀高等学校内
佐賀県PTA連合会
☎0952(26)2276

発行責任者
会長 江田 明弘
佐賀県PTA連合会ホームページ
<http://www.saga-pta.jp/>



子育て応援 / メッセージ

ともに学び! ともに成長!

- ♥ つながろう!!
元気にあいさつ 笑顔でね
- ♥ 受けとめよう!!
子どもの心メッセージ
- ♥ 見守ろう!!
地域ぐるみで輪になって
- ♥ 育もう!!
食卓でつくる 家族の絆
- ♥ 伝えよう!!
感謝の気持ち ありがとう
- ♥ 話し合おう!!
ルールを守って 情報モラル

九P佐賀大会成功へご協力を



佐賀県PTA連合会
江田明弘会長

新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、日ごろから本会の活動に対して多大なご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて昨年はコロナ禍により、協定を受け、10月には、携協定を結ぶことができ、各市町の教育委員会とも佐賀市をはじめ4市町で協定を結ぶことができた。新年以降もこの動きが続いていくことが予想されます。協定を受け、10月には、有意義な時間となりました。今年、日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会が佐賀市など県内5市で開催されます。県P役員を中心にすでに準備が始まっていますが、いよいよ活動が本格化します。県内で11年ぶりとなる九P大会を成功に導くため、会員の皆さまのご支援がますます必要となります。ご負担をかけることにはなりますが、なにとぞご協力をお願いします。



新年のごあいさつ



佐賀県教育委員会
落合裕二教育長

「認めてほめて伸ばす」を合言葉に
新年あけましておめでとうございます。PTA会員の皆様には、お子様とともにすばらしい初春をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。さて、昨年は、三年ぶりに唐津くんちの通常開催、佐賀パルティフェスタの有観客開催など、県内の恒例行事が戻ってきました。それに伴い、子供たちが様々な価値観に触れる機会も少しずつ増えてきています。コロナ禍、技術革新、グローバル化の進展など、子供たちを取りまく環境や社会が大きく変化している中、子供たちが多様な価値観や文化に触れることは、子供たちの豊かな人間性の涵養につながります。また、県では、「志を高める教育」の推進に力を入れており、子供たちには、主体的に考え、判断し、自分の行動に責任を持つことができて「生きる力」を育んでほしいと考えています。子供たちの豊かな人間性を育み、志を高めるためには、「子供を認めてほめて伸ばす」ことが大切です。学校・家庭・地域の様々な取組の中で子供たちの活躍をみつけ「認めてほめて伸ばす」ということを合言葉に、今年も頑張っていきます。最後まで寄り添います! 11名の経験豊富な正社員講師が指導します

丸田塾 maruta

35年の信頼と実績 県内に6教室!

丸田塾を試す春! **無料体験実施中!**

今年も頑張っていきます!

小・中・高 目標に応じた各コース

全教科指導 部活や習い事との両立もできます

英検・漢検・数検 の受験もできます

オンライン英会話

11名の経験豊富な正社員講師が指導します

2022年 合格実績

県立高 ... 108名

致遠館中 ... 20名

九大(医)・筑波大
早稲田・上智大 他

お問合せは
電話または
ホームページから

沖縄県で九P研究大会 組織の在り方など意見交換

三里小育友会(小城市)が提言

九州地区のPTA会員が一堂に会する「第67回日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会」が12月17、18の両日、沖縄市の沖縄アリーナをメイン会場に開かれました。九州各県から約4千人が参加し、PTA活動や組織の在り方などについて意見交換しました。



九Pおきなわ大会全体会であいさつする池間守九州ブロックPTA協議会長(沖縄アリーナ)

大会スローガンは「ひろげ・つなぐ・未来へのリレー」結のこころで、PTA組織・運営の在り方や、子どもたちの人権教育、魅力的な広報活動など6分科会と全体会を開きました。このうち第1分科会では、小城市の三里小育友会が「新しい時代を創る三里っ子を育てよう」の演題で提言。地域と連携したさまざまな活動を紹介します。

「子どもたちが夢や希望を持てる地域作りを目指し、子どもの成長を地域みんなで盛り上げる」と強調しました。全体会では、お笑いコンビ「ガレッジセール」のゴリさんが「ガレッジセールゴリと考える『子育て』と



九Pおきなわ大会第1分科会で提言する土井貴・三里小育友会長(右)=那覇文化芸術劇場なはーと

受賞おめでとうございます

九州ブロックPTA協議会表彰

団体表彰(6団体)

- みやき町立中原小学校PTA
- 佐賀市立成章ブロックPTA
- 唐津市立外町小学校PTA
- 伊万里市立国見中学校PTA
- 有田町立大山小学校PTA
- 白石町立白石小学校PTA

個人表彰(6人)

- 森田 徹(東与賀中P)
- 菱岡 智美(西郷小P)
- 陣内 敬(東原摩舎西溪校育)
- 齊藤 剛(有田中P)
- 橋口 晃幸(武雄中P)
- 吉原 克浩(有明中P)

感謝状表彰(3人)

- 佐伯 玄一郎(前県P会長)
- 山口 まき子(前県P副会長)
- 小川 徳晃(前事務局局長)

は？」の演題で記念講演。笑いや感動を交えながら自身の子育て経験を語り、会場と意見を交わしました。
(瀬戸健太郎 編集委員長)

日本PTA九州ブロック研究大会 おきなわ大会決議

- 一、親から子へ、未来を切り拓く「ジンブン(知恵)」、他者を思いやる「チュラグクル(美しい心)」を伝え、家族の絆を深め、豊かな心を育む家庭づくりを努めます。
- 一、PTA活動や研修をとおして、「結のこころ」をもって親として社会人として常に学ぶ姿を子どもたちに示すとともに、会員同士の資質向上に努めます。
- 一、郷土の文化や伝統に誇りを持ち、進んで地域行事に参加し、「地域の子は地域で育てよう」を合言葉に、豊かで活力ある未来へつなぐ地域社会づくりを努めます。
- 一、会員相互の連帯感を深め、主体的に行動するとともに、時代に対応した活気ある魅力的なPTA活動の創造に努めます。
- 一、互いに「結のこころ」で関わり、「自他の違いを認め合い、思いやりのある子」、「平和を愛し、命の尊さがわかる子」を育てることに努めます。

県教委と県PTA連合会との連携・協力会議



様々な意見が交わされた県教委と県PTAの連携・協力会議(佐賀市の佐嘉神社記念館)

部活動などで意見交わす

佐賀県教育委員会と佐賀県PTA連合会との連携・協力会議が10月13日、佐賀市の佐嘉神社記念館で開かれました。県教委からは落合裕二教育長はじめ課長級の職員ら約20人、県PTAからは江田明弘会長など理事13人が出席し、1人1台端末活用の可能性や部活動の今後について意見を交わしました。

会議の冒頭、江田会長は「未来を築いていく子どもを育てていく思いは同じ。私たちが活用していただく

意見を出してもらえれば」とあいさつ。落合教育長が「県の政策に生かせるような意見を頂戴したい」と呼び掛けました。

意見交換では、1人1台端末について、端末を持ち帰った際の各家庭での通信環境の格差や、端末の故障問題などが課題として挙げられました。部活動関連では県教委が、全国に先駆けて「SAGA部活」の取り組みが始まっていることを報告しました。

(瀬戸健太郎 編集委員長)



県PTA副会長 西靖幸

有意義な意見交換できた

一つ目の柱として「学力向上」をテーマに家庭学習等の充実や一人一台端末の可能性について意見交換。全国学力・学習状況調査結果、子どもの生活状況について、一日当たり4時間以上スマホ等でゲームや動画視聴する割合が約15%という数字に危惧の念を抱く。学力とは勉強や受験のみならず、学ぶ力を養うことであり、その

きっかけとなる「問い」に寄り添うことは肝要である。

二つ目は「部活動改革」について、国の動きとしての「地域移行」と県における「SAGA部活」について協議。教育委員会と担当部局との包括的な連携強化の枠組みの構築、地域と

の有機的な連携・協働は不可欠である。

今回は、二つのテーマに沿った意見交換と教員不足に伴う教員採用の在り方について触れ、大変有意義な機会であった。

2023
1.2(月)→**2.12**(日)

開場時間 | 9:30~18:00 (17:30最終入場)
休館日 | 1/10、16、23、30、2/6

小学生以下 入場無料!

観覧料	
一般	1,000円
中高生	500円

※未就学児、小学生は無料
※障害者手帳又は指定難病医療受給証の所持者は無料(介助者は有料)
※佐賀新聞Begin会員、佐賀県立博物館美術館メール会員は割引あり

【主催】佐賀新聞社 【企画】株式会社 港屋
【後援】佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀市教育委員会、サガテレビ、エフエム佐賀、NBCラジオ、ぶんぶんテレビ、RKB毎日放送、テレビ西日本、テレビQ、FBS福岡放送、九州朝日放送

【お問い合わせ】佐賀新聞プランニング
TEL 0952-28-2151 (平日9:30~17:30)

好評開催中

佐賀で巡り合う
大正浪漫の世界

Yumeji Takahisa

「春の雪」(部分 昭和初期)

2023
竹久夢二展

新春特別展

二〇二三年・佐賀

【特設サイト】

【Twitter】

市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第14回

鳥栖市 園木勝彦会長



そのき・かつひこ

鳥栖・三養基地区消防事務組合に勤務。若いころは火災現場や救助活動で活躍したが、現在は総務担当として、消防士や救急救命士の活動を支えている。趣味はスキューバダイビング。毎年のように沖縄などを訪れていたが、結婚、子育てで「今はなかなか行けなくなった」と笑う。弥生が丘小PTA、46歳。

◆PTA役員を引き受けたきっかけは？

昔からの知人に声を掛けられたのがきっかけです。最初は断ったのですが翌年も声をかけていただき、家族に相談した上で引き受けました。弥生が丘小は新興住宅地にあり、いろいろな考え方の保護者がいらっやいます。副会長を3年間務めたのですが、多くの人と交流でき、いろいろな気づきがあったことは収穫でした。

その後、しばらく間を開けて鳥栖地区の副会長となり、今は会長2年目です。

◆鳥栖地区PTAの自慢できるところはどこですか？

約40年前から続いている「はは!!おや!?オリンピック」です。自分の母親も出場したことがあるくらい伝統があり、知り合いもたくさんできます。この大会で培った人間関係がさまざまなトラブルの解決につながることもあります。参加してみると本当に楽しいので、これまで敬遠されていた方にもぜひ参加してもらいたいです。

◆鳥栖地区会長として気をつけていることはありますか？

PTAに対してはさまざまな考え方がありますので、事業への協力をお願いする際には一つ一つ丁寧な説明を心掛けています。役員さんは単年で交代することも多いです。活動を継続的なものにするためにも、説明を丁寧にするのは大切だと考えています。

◆今後の鳥栖地区の活動をどう考えていますか？

県Pと県教委が包括連携協定を締結するなど、県全体でPTA活動を盛り上げる機運は高まっていると思います。鳥栖地区でも連携協定を早期に締結し、地区Pと教育委員会が協力しながら活動できる体制を築いていきたいです。

(聞き手・瀬戸健太郎 編集委員長)

丁寧な説明心掛ける

県P母親研修会 しほママが防災講演

地震の際に身を守る体勢を実践する参加者
佐賀市のホテルグランドはがくれ



佐賀県PTA連合会の母親研修会が10月21日、佐賀市のホテルグランドはがくれで開催されました。「歌う防災しほママ」として知られる柳原志保さんが「元氣な暮らし安心術」を母として今できること」の演題で講演し、災害時に対する日ごろの準備の重要性などを分かりやすく話しました。

準備の大切さ強調

柳原さんは宮城県出身。2011年の東日本大震災で被災し、避難所生活を営んでおられた経験から、防災の大切さを伝えるために「しほママ」として活動されています。柳原さんは宮城県出身。2011年の東日本大震災で被災し、避難所生活を営んでおられた経験から、防災の大切さを伝えるために「しほママ」として活動されています。

災害に対する日ごろの心構えの重要性などを話した柳原志保さん。佐賀市のホテルグランドはがくれ



講演では、地震の際に身を守る方法を歌を交えながら紹介。災害時の避難行動計画を作成しておく大切さや、日ごろから近所や友人たちとの交流を深めておく重要性も説明しました。また食料を備蓄しておくコツや紙を使った食器の作り方など実践的な防災知識も伝えました。

(森田香理 編集委員)

講演を聞いて



県P母親委員長
佐伯美由紀

「備え」の花咲かせたい

防災は大事だけれど、どのように備えるべきなのかよく分からずに不安に感じていました。今回の研修会では歌や映像を使いながら、明るく分かりやすく説明していただきました。どれもが身近で取り組みやすいものばかりでした。私もできることから無理なく続けていきたいと思っています。災いから学んだ教訓を忘れずに伝える「防災」が柳原先生のライフワークだそうです。研修会を通じてたくさんの「防災」の種をまいてもらいました。私たち一人一人が災害を意識し、「備え」という花をたくさん咲かせていけたらと思います。

家族でホッとタイム

家族の触れ合いを目指す

県Pではこれまで、毎年11月1日に「ノーテレビンゲーム」の取り組みを行ってきました。この取り組みを今年度から改革・発展させたのが「家族でホッとタイム」です。最近の子どもたちは自宅にこもり、一人で過ごすことが多くなっています。「家族でホッとタイム」では、家族が一緒に読書やゲームなどをする中で、家族の時間が増えることを目指しました。初めての取り組みですが、皆さんはどんな触れ合いができてでしょうか？



佐賀新聞 電子版

毎朝5時に更新

スマホでも読みやすい!

過去の記事や人事も簡単検索

プレゼントや試写会の応募も!

追加料金なし!!

新聞購読 + 電子版

3,350円 (月額/税込)

▶販売店集金、自動振替、クレジットカード決済

電子版のみ

3,350円 (月額/税込)

▶クレジットカード決済のみ

登録はサイトから

佐賀新聞

検索



【問い合わせ】
佐賀新聞社 メディア局 コンテンツ部
☎ 0952(28)2162

会員限定のコンテンツ 満載!

長押ししてテキスト表示に

詳しくは新聞 佐賀新聞電子版スタートスマホ、PC、タブレットで

佐賀新聞社は8月1日、電子版サービスを開始しました。スマートフォン、パソコン、タブレットを使って、外出先からも手軽に新聞を読むことができます。紙の上では技術的にできなかった電子版ならではの機能も準備。「日本初 動く新聞」として、紙面上の動画が自動再生され、記事に関連する画像も表示されます。



子育て・親育ち **うちの家訓** 子育てのヒントになるような、それぞれの「家訓」を紹介します。

城地家の家訓

何事にも挑戦すること

城地由香(東脊振中P)

我が家には家訓というものがありません。ただ、いつも子どもたちには「何事にも自分から進んで挑戦しなさい」と言っています。

ことや、投げ出したいこともたくさん経験してきたみたいですね。

勇気のいることですが、失敗することを恐れずに挑戦することで、成功したときの喜びや失敗したときの悔しさを知ることが出来ます。得られるものはたくさんあり、大切なことだと考えます。これからも挑戦し続けて頑張っています。

子どもは物事に取り組み前から、すぐに「イヤだ」「面倒くさい」と言い、あきらめようとしていました。しかし今はクラス代表になって話をまとめたり、主将としてチームをまとめたりと頑張っています。悩んだ

このことは、これまで前年踏襲で行ってきたことを見直し、本当に必要なPTA活動は何かを考える機会になりました。制約を受けなくてもなお、子どもたちのために取り組むべきことは何か。それは、子どもたちの心に、記憶に残る取り組みなのでと考えると、PTA行事のスリム化を図りました。コロナ禍で実施するには負担の大きな行事を減らし、絞り込んだ行事に集中して取り組むようにしました。

定松家の家訓

「礼節」を大切に

定松浩史(有明中P)

我が家には特に家訓というものはありません。信頼関係のもとでお互いの意思を尊重し、自由気ままにさせています。ただそのような中でも「礼節」を大切に、人に迷惑をかけるないように伝えていきます。

な気持ちになる人はいません。また「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることはとても大切なこと。その子どもたちにも伝える一方、自分自身を見直す機会にもなっています。

家族いつまでも笑顔で過ごせたらいいなと思います。素直で好奇心旺盛、自発的に行動できるようになってほしいです。

このことは、これまで前年踏襲で行ってきたことを見直し、本当に必要なPTA活動は何かを考える機会になりました。制約を受けなくてもなお、子どもたちのために取り組むべきことは何か。それは、子どもたちの心に、記憶に残る取り組みなのでと考えると、PTA行事のスリム化を図りました。コロナ禍で実施するには負担の大きな行事を減らし、絞り込んだ行事に集中して取り組むようにしました。

コロナ禍で見直すPTA活動

千代田中PTA会長 緒方 孝至



ここでは、絞り込んだ行事の一つ、11月に行った「3年生を励ます会」を紹介します。

いよいよ受験に立ち向かう子どもたちと一緒にレクリエーションを交えた講演を聞き、保護者として励ましの言葉を手紙という形で伝えました。子どもたちからもこれまでの感謝とこれから先への決意を手紙でもらい、年ごろの子どもたちなりの思いに胸を熱くしました。

このような心に残る行事を活動の中心に据えて取り組んでいきたいと思います。



父親日記

佐賀新聞社の教育担当記者がつづる、教育や子育てをテーマにしたコラムです

vol.9 友達が一番

小4の娘が初めて友達の誕生日会に招かれた。ケーキと一緒に食べて10歳のお祝いをしたという。1週間後は娘の誕生日で、今度は招待する番になった。

「誕生日会をするなら、お父さんと一緒にケーキは食べられないよ」。妻にそう言われ、娘は悩んでいた。妻に「ハッピー・バースデー・トゥ・ユー」を歌い、ケーキを切り分け、食べる。それまでは家族だけの祝いの儀式だった。それを友達と分け合う。家族が、友達か。子どもにとっては難題である。

佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やお子様とご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



この制度の詳細内容はこちらからも確認いただけます。

AIG損害保険株式会社『お子さまのための総合保障制度』 <https://riskfinder.jp/school/>



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先: 0120-228-553 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く)

○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 Chubb損害保険株式会社

【令和4年度版: S-220487 (2023-03)】